



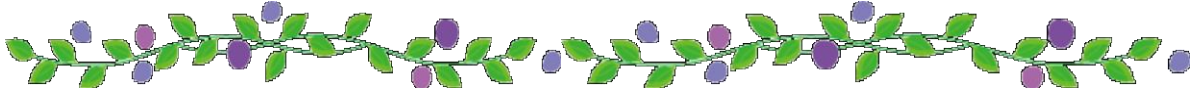
小田小だより

令和3年 2月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校



「つながり」を大切に

副校長 熊谷 眞理子

2月3日は立春、暦の上では春となります。朝、学校の周りを巡回していると、枝の先には芽が膨らんでいることに気がつきました。木々も春の準備を始めているようです。学校にはたくさんの樹木が植えられています。ソメイヨシノ、シダレザクラ、アラカシ・・・それぞれの木は春、つぼみを付けて開花し、花が散った後、夏には緑色に茂り、秋には葉が色づき、冬には落葉・・・そして春にはまた芽を、と1年間でまた次の年に向けての準備が始まります。季節によって様々な変化を見せてくれる木々ですが、1年前の今頃、世界中がこのような状況になっているとは、そのときは想像できたでしょうか。

この1年間で振り返ると、様々な動きがありました。3月から5月の横浜市一斉臨時休校。6月前半の分散登校を経て、感染症対策を講じながら教育活動が再開いたしました。7月からの給食開始。7月いっぱい授業を行い、約2週間の夏休み。8月は17日から前期後半開始。例年がない動きが多々ありました。その一つがGIGAスクール構想です。この構想により、校内LAN整備が進められ、児童1人一台使用できるようにパソコンの納入が今後予定されています。また、各クラスには、そのパソコンを納入する棚も納入予定です。急激に進むGIGA構想の中、保護者の皆様には臨時休校に備え、ロイロノートの接続確認をお願いし、ご協力くださり、本当にありがとうございました。

校内の授業研究会も例年行っていましたが、今年度は密にならないように工夫しながら教材研究や授業改善を行っています。このような状況下であっても学び続ける姿勢を大切にしています。これらの校内授業研究会や、休校時に感じたのは、「つながり」の大切さです。これから先、どのようにインターネットが発達しても、遠隔での授業を行われる日が来ようとも、人と人とのコミュニケーションは欠かすことはできません。むしろ、これからさらに重要になってくることが想定されます。児童がともに学び合うことのすばらしさ、学び合うことで深め合うことの大切さをこの一年間、痛感いたしました。友達の考えに触れることで多面的に物事を考えたり、自分の考えを深めたりできるからです。情報機器を学びのツールとして捉え、つながりを大切にしたい教育活動を今後も進めていきたいと考えています。

今後更に、様々な変化が予想されます。しかし、どのように時代が変化しても、つながりを意識し、形は変化するかもしれませんが、コミュニケーションを大切にしていきたいです。緊急事態宣言が発出されている中でも教育活動を行うことができることに感謝し、急激な変化に対応し、感染症を予防に努めながら一人ひとりの学びを今後も支援していきたいと思っております。